

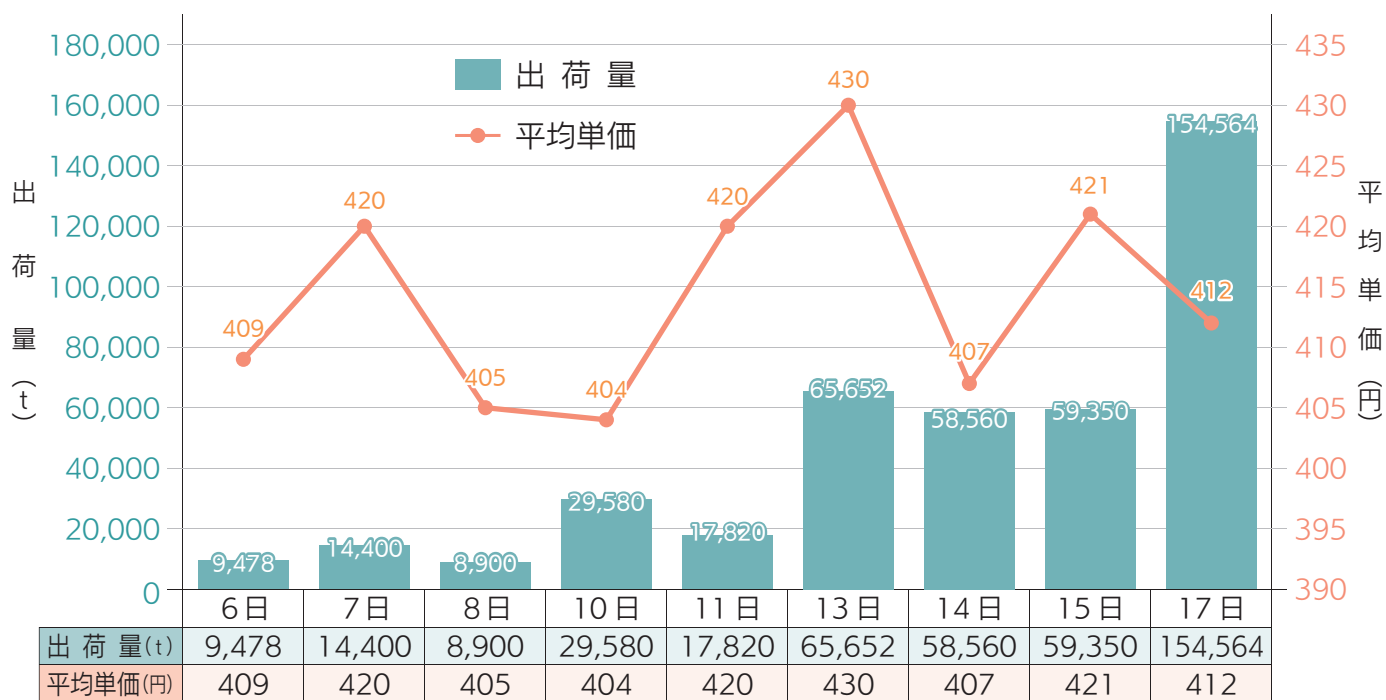
伊方町農業支援センターだより

Farmers' Communication Magazine For IKATA Member's

令和7年産 早生みかんの単価と出荷量

この表では、早生みかんの各取引市場（11月上旬～11月中旬）での平均相場と出荷量を示したものです。11月6日（木）に、早生みかんの初売りを迎えました。10月中旬まで異常な高温が続いた影響もあり、着色が遅れ7年産についても昨年同様に少ない出荷となりました。

食味内容については、天候に恵まれたことにより、糖度・酸度のバランスも良く昨年以上の良好な仕上がりとなっています。肥大については、生育段階での生理落果が多かったことと、収穫直前まで高温が続いたため、昨年同様に大玉傾向となり昨年に近い階級流れとなっています。全国的に昨年を上回る数量となっていますが、品格・品質を第一に選果を行っていることもあり、価格については、昨年並みの単価で推移しています。今後は、イタミ果を出さないことが大事になってくると思われます。



CONTENTS

1. 表紙 早生みかんの取引価格好調推移
2. 早生みかんの初売りに行ってきました！
3. 「新嘗祭」粟の収穫が行われました！
4. みかん出前授業を開催！
～かんきつの魅力を八幡浜の小学生にお届け～
5. 『伊方町有害鳥獣被害防止対策事業』
中間報告について
6. 活動紹介 地域おこし協力隊 佐々木 久貴
7. 活動紹介 地域おこし協力隊 今泉 猛
8. 農業者年金に加入しましょう！

伊方町イメージキャラクター
サザンディー



No.46

企画発行／伊方町農業支援センター
〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦 1993-1
伊方町役場本庁2階 農林水産課内
TEL(0894)38-2651 FAX(0894)38-1373

◆瀬戸・三崎地域の受付窓口◆

瀬戸支所地域住民係 TEL(0894)52-0111
三崎支所地域住民係 TEL(0894)54-1111

伊方町青年農業者協議会



11月6日（木）東京大田市場で開催された早生温州の初売りを見学させていただきました。早朝から愛媛県知事、八幡浜市長などをはじめ多くの関係者が訪れ、この初売りにかける熱い思いを感じました。今年は1キロ当たり413円の単価で、過去最高を更新しましたが、全体的に温暖化の影響で着色が遅れているため出荷数量が少ない状況でした。各共選ごとのみかんが並べられており、みつる共選のみかんは他の共選のみかんと引けを取らない出来栄でした。競りも近くで見学し、どんどん金額が決まっていくな様子がとても感動しました。競りの後は様々な方との意見交換を行い、特にみかん大使の方とは志望理由や今後の活動についてお話をさせていただきました。愛媛みかんの販売促進や情報発信を全国で頑張してほしいです。

今後は、日本一のみかん産地として消費者の方に美味しいみかんをお届けできるよう、日々の作業を一生懸命頑張っていきたいと思います。



新嘗祭 粟の収穫が行われました！

9月三崎地域で粟の収穫が行われ献穀者である山下淳さんに感想を聞いてきました。



献穀者になった時の気持ち、意気込みは？

西宇和青壮年同志会の前会長より今年度は西宇和地域が新嘗祭の穀物をつくる順番であることを聞きました。元々会社員をやっていた私は新嘗祭という言葉すら理解しておらず、どのような行事なのだろうと思っておりました。調べてみると、天皇陛下に穀物を献上する大変重要な行事であることを知り、大変光栄なことだと思いました。

ただ、粟を栽培したことはなかったため、若干不安はありましたが、関係者（JA、行政）の方が手伝ってくれることがわかっていたため、安心はしていました。ただ、たくさんの方が関わっているため、失敗できないというプレッシャーはありました。

粟の収穫に至るまでに大変だったことは？

三崎地域では粟を栽培することに適しているような土地が少なかったため、どうしようかと思っていたところ、タイミングよくビニールハウスを建てる予定の土地を貸りていたため、その場所に粟を植えることになりました。その場所は廃園となっていたため、伐採を行った後にユンボで抜根・整地した後に、根っこや石などのゴミ拾い、畝や排水のための溝を作るなどの環境作りが大変でした。また、本業である柑橘栽培と並行して作業を行っており、親がいないとできない作業だったなと思いました。

育ち具合はどうだった？

天候にも恵まれ、鳥獣害の予防に鉄筋柵や防鳥ネットを張っていたこともあり、粟の生育は良好でした。ただ、収穫前に雨が降ったことによるカビの発生で若干ロスが発生してしまいました。

実際収穫をしてみた感想

収穫時には家族や子供の同級生、JA職員など多くの方と一緒に収穫を行いました。

たくさんの方が和気あいあいとしている中で収穫を行っている風景を見られたことが良かったです。また、収穫後も乾燥・脱穀・選別とJA職員の方に手助けしていただき大変感謝しております。先日、粟の献穀式典に参加してきました。通常、東京に行く機会もほぼなく、ましてや天皇陛下にお会いできる機会なんて、一生に一回あるかないかという貴重な体験をさせていただきました。天皇陛下は終始穏やかな表情で私達の作業を労っていただき本当に感激しました。また、今日の経験を糧に、これからの農作業により一層励んでいきたいです。



伊方地区青年農業者協議会



みかん出前授業を開催！

～かんきつの魅力を八幡浜の小学生にお届け～

八幡浜市と伊方町の青年農業者で構成する八西地区青年農業者連絡協議会は、毎年、県内や首都圏の小学生にみかんの出前授業を行い、産地のPRや農業への理解促進の取組を行っています。

今年度は、下部組織である伊方地区青年農業者協議会が、令和7年10月15日に八幡浜市内の小学校2校で温州みかんの出前授業を開催し、会員がかんきつ栽培の自作DVDの上映、みかんの収穫体験等を行いました。収穫体験では、会員がみかんの果実付きの枝を持参し、実際に、教室ではさみの使い方や二度切りを指導するなど丁寧に授業を行いました。

授業では、児童から「仕事で一番大切なことは何か？」や「みかん作りを始めたきっかけは？」といった積極的な質問が寄せられました。会員たちは、自らの経験や栽培に関する知識をもとに、熱心に答えていました。

この取組では、児童が、実際にみかんや収穫道具に触れ、生産者の声を直接聞くことによって、栽培についてより深く理解することができ、産地の魅力をPRすることができました。

2月中旬にも東京の小学校で、中晩柑の出前授業を実施予定です。今後も、子どもたちの地域特産物や食に対する理解促進を図り、地域農業への関心を向上させるため、食農教育活動を継続して行っていきます。



『有害鳥獣被害防止対策事業 (町単独事業)』について



令和4年度から開始の伊方町単独補助事業「有害鳥獣被害防止対策事業」の実績について報告します。補助要件等を確認のうえ積極的な活用をよろしくお願いします。

R 7 実績

11/25 現在

■ 件 数 10 件
■ 総事業費 1,198,079 円(税込)
■ 補助金額 511,000 円

補 助 概 要

近年、鳥獣被害（イノシシなど）が山間部だけでなく集落付近にまで及んでいることから農業者だけの問題ではなくなっています。有害鳥獣による農作物被害及び人的被害を防止するため、被害防止設備の支援を実施することで、本町における農林産業の振興を図るとともに、住民の安心安全向上に資することを目的とします。

メ リ ッ ト

購入後、すぐに手続きが可能となるため必要な時に早急に整備が可能となる。

補助対象者

- 町内に住所を有する人
- 町税等の完納者

補助率及び条件

- ① 事業費（消費税を除く）の 1/2 以内
- ② 1 件当たり補助金額 10 万円を上限とし、年度内 1 申請とする。
- ③ 1,000 円未満の端数は切り捨てとする。
- ④ 申請は、購入後に領収書及び写真を添付して提出。

受付期間

随時受付

※ただし、令和7年4月1日～令和8年3月31日までに事業（支払い）を完了したもの。予算に限りがありますので、申請を受け付けられない場合があります。

対象設備

- ・ 鉄筋柵
- ・ 電気柵
- ・ 防鳥ネット（重複申請可能）

※資材費のみが対象で設置費は対象外です。

その他

急を要しない農業者については県単事業（1戸から可能）の活用をお願いします。



中山間部の園地（電気柵の設置）



園地の周辺（鉄筋柵の設置）

問い合わせ / 役場農林水産課農水産業支援センター TEL 38-2658

地域おこし協力隊を 紹介します!

伊方町地域おこし協力隊 佐々木 久貴



皆さん初めまして、7月から地域おこし協力隊（農業振興）として活動している佐々木です。3年後に柑橘農家として就農することを目指して日々邁進しております。

私はサラリーマン時代の約30年間すべてにおいて、製造業の経理業務を担っていましたが、製造部門の方々と接するうちに、私も何か製造（生産）する側になりたいと思うようになり、将来的には農家になって自分の作った物を消費者に届けたいと考えるようになりました。

そこで「中四国移住フェア」に参加した際に伊方町のご担当者様から、協力隊として就農を目指す方法があることをご教示頂くと共に「伊方町は良いところなので、一度来てみて下さい」と熱く語って頂きました。

そうして何度か伊方町を訪れることになったのですが、来るたびに町民の方々の人柄や温かさに触れたこと、海と山が近い独特の地形に魅了されたこと、そして山になるオレンジ色の柑橘を目にしたことで「ここで美味しい柑橘を作りたい！微力ながらも町に貢献したい！」となり、移住を決意しました。

さて、実際の就農に向けた活動ですが、「三崎地区で清見等の柑橘を育てたい」との要望を聞き入れて頂き、三崎共選にて3年後の就農に向けた3か年計画を作成して頂きました。

1年目である現在は共選長をはじめとしたベテラン農家さんの元で作業を実施しながら勉強させて頂いております。

摘果やマルチシート張りなど私にとっては初めての作業ばかりですが、1日でも早く一人前の柑橘農家になれるよう努力していく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



地域おこし協力隊を 紹介します!

伊方町地域おこし協力隊 今泉 猛



みなさま初めまして、今泉 猛と申します。10月1日より地域おこし協力隊（農業振興）として採用となり、3年後に柑橘農家としての就農を目指し活動しております。

この道を選んだきっかけは数年前の家族旅行でした。道の駅で購入したみかんの美味しさに衝撃を受け、壮大な景色の中、整然と並ぶ段々畑を眺め「こんな最高の環境でこんなに美味しいみかん作りをして暮らしたら。」と漠然とはしていましたが、思い描いた事を覚えております。

現在「A」にしゅうわと町見地区の農家さんのもとしっかりと基礎から研修中です。園地では今まさに最盛期。私の概念を変えた素晴らしい柑橘を皆様にお届けするために一つ一つ丁寧に収穫しております。そして何よりも自然の中で働ける喜びがあり、全てが以前の生活では得られない新鮮で貴重な経験です。

自然豊かな環境に身を置くと物事の捉えかたも変わり穏やかな気持ちになっていくようです。100年以上続く歴史ある西宇和柑橘の技術と伝統、先人達が築きあげた類まれな第一次産業を守るべく努めてまいります。もちろん将来性のある若い世代の方が最優先と心得ております。自然と触れ合い一から自分の手で育て上げる達成感それにより豊かさを感じ生きる喜びに繋がる。そういった魅力を伝えていければと思います。

園地からは宇和海を望む絶景が広がり、お世話になっている農家さん、町で出会う方は素敵な人達ばかりです。単なる仕事を超越価値観やライフスタイルそのものが一変し、人間らしい生活を送れている実感が湧いてきます。私の憧れたこの場所はとても心地がよく穏やかな時間が流れています。



若い農業者の 皆さん！ 自分の老後 自分で守れますか？

若い
今こそ年金
アクション！

若い農業者の方は、**国民年金の上乗せの
公的な年金「農業者年金」**に加入して
安心して豊かな老後を！

ポイント

1

国庫補助で手厚い支援！
1万円の自己負担で**2万円の積立てが実現！**

ポイント

2

早く加入すれば、**国庫補助が長く受けられる**

ポイント

3

自ら支払った保険料は、
全額社会保険料控除の対象！
さらに**保険料は自由に選べる！**

農業者年金の内容やご相談については、
最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金に
お問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

● 専門相談員

TEL : 03-3502-3199

● 企画調整室

TEL : 03-3502-3942